

本年度の学校評価

本年度の 重点目標 項目(担当)	『主体的に考え、自立的に行動する生徒』の育成 ～ 「縦に横に」「外に内に」人間関係を深める～ 1年「広げる」 2年「深める」 3年「表す」		
	重点目標	具体的方策	留意事項
総務部	<ul style="list-style-type: none"> ・充実した体験入学にする。 ・円滑なPTA活動。 ・式典の厳粛な進行。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体育館での説明会に加え、部活動見学期間を5日間設ける。説明生徒を決めておき、生徒と接する機会を増やすよう工夫する。 ・意見交換により、保護者のニーズに応えられるようにする。 ・式典の意味を考えさせ自ら行動できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生の「学習する姿勢に感動した」、「部活動において生徒主体で素晴らしい」という感想をもとに、生徒主体の体験入学を実現したい。生徒の考えを尊重していきたい。 ・各委員会の内容の充実を図りたい。委員の意見を聞き、改善を図る。 ・本校の式典における生徒の参加姿勢はとても良い。コロナウィルスの影響が去り3学年集合の式典が行えた時には以前以上に厳粛な進行ができるよう努力したい。
教務部	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の学力向上と学習習慣の定着を図る。 ・総合的な探究の時間を効果的に実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年で学習時間調査を実施し生徒にフィードバックする。 ・学年と連携し、本校生徒の自主性を高められるような指導を実施していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年と連携し、現状の学習状況や今後の課題などを生徒にフィードバックしていきたい。 ・昨年度よりスマートフォンやタブレットを用いた授業を実施している。今年度も継続してICT機器を利用し、授業や教育活動全般を通じて、生徒の主体性を育成させたい。 ・総合的な探究の時間を通じて、生徒の主体性を尊重し、自主的に考え行動できるようなプログラムを検討し、教員全体で働きかけを行う。
生徒指導部	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の交通マナーを向上させ、交通事故件数を減少させる。 ・生徒自ら規律を守り、自立することができる生徒を育てる。 ・情報モラルの向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自らの命を守るための啓発活動、立ち番指導を全職員で実施する。 ・日常指導の場面で、自ら考え行動する意識の向上を図る。 ・情報モラル講話を行い、携帯機器との関わり方を考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・登下校のマナーについて、機会あるごとに訴え続けて、自分のそばに危険があることを自覚させる。 ・自ら学校のルールを守ることができる指導が必要がある。その中で、学習環境も向上できればよいと考える。 ・他人に迷惑をかけない利用方法、個人情報の漏洩など危機意識の向上が急務である。
進路指導部	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒にとって有意義かつ信頼される進路指導を行う。 ・新課程入試への対応を考える。 ・進路実現に向け、計画的かつ個々に合わせた学習指導を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路だより等を用いて情報を積極的に発信する。 ・教員同士で進路指導の方法を共有し、各学年全体で指導にあたる。 ・補習や模擬試験のよりよい活用の方や進め方を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路だよりでは、卒業生の書いた受験レポートなどを有効に活用する。 ・新しい情報を見逃さず、該当学年団と共有する。 ・補習において、受講するクラスのレベル分けやコース分け、問題の精選を行う。また、それぞれの進め方について、学年団と緊密な連絡を取りながら行っていく。
保健部	<ul style="list-style-type: none"> ・防災教育を通じ、自己を守る意識、行動を身に付けさせる。 ・落ち着いた学習環境を維持し、清潔な環境を目指して改善を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練を年に2回実施し、より発展的な訓練を実施する。 ・清掃点検を実施し、清掃が不十分な場所に改善を求める。 ・トイレ清掃を重点的に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2回の防災訓練により、生徒・教員に高い防災意識を維持させる。訓練形式を工夫し、より意義あるものにする。 ・清掃点検を計画的に実施し、清掃が不十分な場所には速やかに連絡し、改善をお願いする。 ・改修されたトイレをきれいな状態に保つ努力をする。
教育情報部	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信の方法について研究する。 ・図書館利用の啓発を努める。 ・BYODを含め、ICT機器の活用方法について研究する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校案内の構成の見直しおよび公式HPの更新の確認を確認する ・読書会や図書館だよりの充実を図り、昨年の「岡西グランプリ」のように全校生徒対象イベントを計画する。 ・学校行事におけるICT機器の利用方法の検討と、生徒一人一台体制に対応した機器の管理・利用方法を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校案内は新たな構成を検討する。公式HPは、その更新頻度が重要なため、更新状況を定期的にチェックする ・図書委員に積極的に仕事を与えると同時に、全校生徒に対してはポスターなどを用い啓発していく ・教員や生徒に対し、新たな教育支援ソフトが導入されるに伴い、その利用方法をなるべく早く、わかりやすい説明をすると同時に、ICT機器の利用に伴うマナーなどについても徹底をしていく。
特別活動部	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会活動を活発化する。 ・学校全体が意欲にあふれるような、学校行事の運営をする。 ・部活動の活性化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会執行部、各委員会を生徒主体で開催する。 ・生徒が主体的に考え、実践できるように支援する。 ・部活動への側面支援と指導を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒からの意見を募りやすい仕組みを構築し、生徒のやる気を出させる。 ・どのようにすれば盛り上げることができるかを、生徒自身に筋道を立てて考えさせる。 ・他の分掌とも連携し、安全で合理的な活動が行えるような仕組みを整える。

<p>学校いじめ防止基本方針に基づく取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人権教育の一環としていじめ防止のための取組を実施する。 ・いじめの未然防止と早期発見に係る取組を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人権意識を高揚させるための講演等を実施する。 ・いじめアンケートや、教育相談委員会を通じ、生徒の様子や様々な状況の正確な把握に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒に対するアンケート調査を含め、生徒が相談しやすい雰囲気作りに留意するとともに、スクールカウンセラーとの連絡を密にする。 ・教育相談委員会を定期的に開催し、日常生活に「困り」を感じている生徒を早期に把握し、対応する。
<p>勤務時間の適正な管理及び長時間労働による健康障害防止</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・業務内容を精選し、日常業務の効率化を図る。 ・計画的な業務遂行・進行管理を適切に行い、特定期間の業務延長を防ぐ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内の様々な役割分担について連携を取り合う体制づくりを目指す。 ・様々な業務を、個人でなく組織で対応できるシステム作り。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育目標を再確認し、目標に向かって各学年・教科・分掌が有機的に連携して業務を行っていく。 ・業務の再配分を行い、一部に負担がかからないよう留意し、時間外在校時間の上限を遵守できるようにする。
<p>総合評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導、進学指導充実への取組 ・学校行事、部活動の充実への取組 ・本校のスクールポリシーについて 		

昨年度の学校評価
ア 自己評価結果等

本年度の 重点目標	『主体的に考え、自律的に行動する生徒』の育成 ～ 1年「広げる」 2年「深める」 3年「表す」 ～		
項目(担当)	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
総務部	<ul style="list-style-type: none"> ・充実した体験入学にする。 ・円滑なPTA活動。 ・式典の厳粛な進行。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2年生にも参加してもらい人数を増やし内容の充実を図る。快適な空間で中学生・保護者に参加してもらう。 ・意見交換を盛んにし、保護者のニーズにこたえられるようにする。 ・式典の意味を考えさせ自ら行動できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・担当者を増やし、教室での内容を充実させた。次年度は、動画を見せるなど、さらに充実させていきたい。 ・新型コロナウイルスのためPTA総会が中止となり、意見交換の場が減ってしまった。しかし、昨年度から始めた、保護者全員に向けての学校評価アンケートを行い意見を聞くことができた。また、役員会・委員会は円滑に行うことができた。 ・新型コロナウイルスのためPTA総会が中止となり、意見交換の場が減ってしまった。しかし、昨年度から始めた、保護者全員に向けての学校評価アンケートを行い意見を聞くことができた。また、役員会・委員会は円滑に行うことができた。
教務部	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の学力向上と学習習慣の定着を図る。 ・総合的な探究(学習)の時間を効果的に実施する。 ・令和4年度新教育課程を編成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年で学習時間調査を実施し生徒にフィードバックする。 ・学年と連携し、本校生徒の自主性を高められるような指導を実施していく。 ・新学習指導要領に沿った教育課程編成に向け、情報を共有・発信する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・5月と11月に2回学習時間調査を実施し、学年・クラスに情報を還元した。今後も継続していきたい。ロイノートやスタディサプリなどのソフトウェアを整備し、教育のICT利用を促進した。今後は効果も含めて検証していきたい。 ・新型コロナウイルスの影響もあり、第2学年の修学旅行が延期となった。1年次より総合的な探究の時間の一環として修学旅行を捉えており、今後の学習は代替措置も含めて検討していきたい。 ・令和4年度以降の本校の目指す生徒像をもとに、教育課程を編成した。新入試に対応するだけでなく主体的に活動する生徒の育成を目指したい。
生徒指導部	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の交通マナーを向上させ、交通事故件数を減少させる。 ・生徒自ら規律を守り、自立することができる生徒を育てる。 ・情報モラルの向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自らの命を守るための啓発活動、日頃の立ち番指導を全職員で実施する。 ・日常指導の場面で、自ら考え行動する意識の向上を図る。 ・情報モラル講話を行い、携帯機器との関わり方を考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・登下校のマナーについては機会あるごとに訴え続けていくしかない。それが交通事故の減少につながる。危険は常に自分のそばにあることを自覚させる指導が必要である。 ・自ら学校のルールを守ることができる指導が必要がある。その中で、学習環境も向上できればよいと考える。 ・他人に迷惑をかけない利用方法、個人情報の漏洩など危機意識の向上が急務である。
進路指導部	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒にとって有意義かつ信頼される進路指導を行う。 ・新課程入試への対応を考える。 ・進路実現に向け、計画的な学習指導を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路だより等を用いて情報を積極的に発信する。 ・教員同士で進路指導の方法を共有し、各学年全体で指導にあたる。 ・補習や模擬試験のよりよい活用の方や進め方を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部機関の資料等も用いながら情報を発信した。一方で、コロナ禍の影響もあり、低学年において対面での情報提供の機会が少なかったのが課題であった。 ・進路指導部内で情報や考え方を共有することができた。また、それを各学年に還元した。仕事を分担し、責任をもって積極的に活動することができた。 ・来年度に向けた補習のあり方について、進路指導部を中心に検討し、新たな取り組みを行っていくことを模索することができた。
保健部	<ul style="list-style-type: none"> ・防災教育を通じ、自分を自分で守る意識、行動を身に付けさせる。 ・落ち着いた学習環境を維持し、より清潔な環境を目指して改善を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練を年に2回に増やし、より発展的な訓練を実施する。 ・清掃点検を実施し、清掃が不十分な場所に改善を求め、安全点検を通じて、修繕の必要な場所を速やかに発見する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練を2回実施した。形式を変えて実施したことで、緊張感のある訓練ができた。今後も、防災訓練を複数回実施していくことが望ましい。 ・生徒、清掃監督も清掃に熱心に取り組んでくれた。修繕に関しても、点検・報告・修繕が上手に回っていると感じる。 ・トイレの改修工事が行われ、清掃道具や清掃方法が変更されたが、清潔なトイレを維持するためのより適切な方法を探していきたい。
教育情報部	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信の方法について研究する。 ・図書館利用の啓発を努める。 ・BYODを含め、ICT機器の活用方法について研究する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの見直しを行い、より有効な情報発信を行うとともに、ホームページ以外の方法との連携を考える。 ・図書館だよりなどの利用方法を見直し、生徒に向けて様々なアプローチを考える。 ・一人一台パソコンに向けての情報収集および検討を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの更新については、学校の行事に関する更新は行われているが、部活動などの更新については十分な状況ではない。今後、更新状況を定期的に確認し、最新の情報を発信していきたい。 ・コロナ禍で読書会など、生徒を集めて行う行事はできなかったが、読んでよかった本などのアンケートを取るなど形態を変えて行った。 ・BYODの理念から、ロイノート等教育支援ソフトを使った授業が展開され出した。それぞれの利用法の研究をしていきたい。

特別活動部	<ul style="list-style-type: none"> 生徒会活動を活発化する。 学校全体が意欲に溢れる学校行事にする。 部活動の合理的な活性化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒会執行部、各委員会を生徒主体で開催する。 生徒が主体的に考えて取り組む雰囲気を作る。 部活動への側面支援と指導を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒からの意見を募る機会が増え、生徒会役員も主体的に活動している。 どの行事においても、生徒が主体となって準備・運営をすることができた。 感染症対策を講じつつ、短い時間を有効活用し、積極的に活動することができている。
学校いじめ防止基本方針に基づく取組	<ul style="list-style-type: none"> いじめの未然防止と早期発見に係る取組を充実させる。 いじめ対策の具体的事例について研究する。 	<ul style="list-style-type: none"> いじめアンケートや、教育相談委員会を通じ、状況の正確な把握を図る。 研修を通じ、いじめに対する職員の共通認識を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> いじめアンケートを予定通り実施できた。生徒の実態把握もできた。 生徒の実態把握に役立つ教育相談の研修を実施できた。
勤務時間の適正な管理及び長時間労働による健康障害防止	<ul style="list-style-type: none"> 行事、業務内容の見直しにより業務内容の適正化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 部活動指導など、教員の意識改革を進める。 在校時間等の状況記録を活用し、教職員の時間外労働を把握し、適宜業務内容の見直しを行い、健康障害防止に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 決められた時間内で、充実した部活動指導ができた。 在校時間を見直し、勤務時間内で仕事を効率的に行う姿が見られた。
学校関係評価を実施する主な評価項目		<ul style="list-style-type: none"> 学習指導、進学指導の状況について 学校行事、部活動の状況について 	

イ 学校関係者評価結果等

学校関係者評価を実施した主な評価項目	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導、進学指導充実への取組 学校行事、部活動の充実への取組 交通安全を含めた生徒の安全意識の高揚への取組 新型コロナウイルス感染症対策
自己評価結果について	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症への対応として、保護者に学校としての対応を周知できた。 主体的に動く生徒会を目指し、感染症対策を施しながら学校行事を行うことができた。 ICT機器の活用を促進し、効果的な教育指導実践を試みる事ができた。
今後の改善策方策について	<ul style="list-style-type: none"> 新しい評価に沿った授業の在り方の研究 生徒が自主的に活動する環境づくり 新たなICT機器導入において、円滑な運用を図ることができるようにする。
その他(学校関係者評価委員から出された主な意見、要望)	<ul style="list-style-type: none"> 概ね学校の指導方針は保護者に理解していただいている。厳しいご意見をいただく場合もあるが、学校として検討し改善できるようにしていく。 進路希望に応じた指導を更に充実させていただきたい。
学校関係者評価委員会の構成及び評価時期	<ul style="list-style-type: none"> 構成…学校評議員4名（保護者代表1名を含む） 評価時期…2月上旬

(5) 経営管理上の問題点

ア 施設の老朽化により、校内施設に危険箇所がある。点検と共に対策が急務である。

イ 新学習指導要領の実施に向け、評価方法の確立が必要である。